# 【令和4年度予算概算決定額 837(-)百万円の内数】 (令和3年度補正予算額 2,518百万円の内数)

## く対策のポイント>

みどりの食料システム戦略の実現に向けて、地域のバイオマスを活用した**エネルギー地産地消の実現に向けた調査・施設整備**を支援するとともに、 バイオ液肥の地域内利用を進めるため、**液肥散布車の導入**や**バイオ液肥の散布実証のための取組**を支援する。

## く事業の内容>

## く事業イメージン

## 1. 地産地消型バイオマスプラントの導入(施設整備)

家畜排せつ物、食品廃棄物、農作物残渣等の地域資源を活用し、売電に留まることなく、熱利用、地域レジリエンス強化を含めた、エネルギー地産地消の実現に向けて、

- ① 事業化の推進(事業性の評価、調査、設計)
- ② バイオマス利活用施設整備
- ③ 効果促進対策 を支援する。

#### 2. バイオ液肥散布車の導入(機械導入)

メタン発酵後の副産物 (バイオ液肥) の肥料利用を促進するため、バイオ 液肥散布車の導入を支援する。

#### 3. バイオ液肥の利用促進

- ① 散布機材や実証は場を用意し、メタン発酵バイオ液肥を実際にほ場に散布する(散布実証)。
- ② 散布実証の結果に加え、バイオ液肥の成分や農作物の生育状況を調査・分析し、バイオ液肥を肥料として利用した際の効果を検証する(肥効分析)。
- ③ 検証の結果を整理し、普及啓発資料や研修会などを用いて、地域農業者等にバイオ液肥の利用を促すことで、利用範囲を拡大する(普及啓発)。

都道府県

## <事業の流れ>



定額、1/2以内



民間団体等

### 事業化の推進(調査・設計) (交付率1/2以内)



#### 効果促進対策(交付率定額)



・電気と熱の多面的利用 (近隣の農業用ハウスへの熱やCO2供給等)

・発電効率の改善、原料の多様化

全国へ普及

(効果検証)

モデルを全国各地へ波及

バイオマス利用量の増加

農家の所得向上、農村の振興

#### バイオ液肥の利用促進(交付率定額)

①バイオ液肥を実際にほ場に散布

②バイオ液肥の肥効分析等

③検証結果を整理し、地域農業者に普及









・有機質肥料の利用・肥料コストの低減

[お問い合わせ先] 大臣官房環境バイオマス政策課(03-6738-6479)